



平塚市都市提携委員会の活動を紹介する情報誌です。題名は、高山、花巻、平塚、伊豆の頭文字をとって名付けました。

突然ですが、今こそ全ての日本国民に問います。

## 平塚市の国内友好都市をご存知ですか？

「友好都市って仲良くしている都市でしょ…えっと…」

「知っているような気がするけど…どこだっけ？」

そう思ったあなた。答えられないとベジ太に叱られますよ!!!



平塚産農産物PRキャラクター「ベジ太」

平塚市の友好都市は**3市**あります。

- ・ 岐阜県 <sup>たかやまし</sup> 高山市
- ・ 岩手県 <sup>はなまきし</sup> 花巻市
- ・ 静岡県 <sup>いずし</sup> 伊豆市

そもそも友好都市とは…

文化交流や親善を目的とした地方同士の関係を指し、「姉妹都市」や「親善都市」とも呼ばれます。違いについても明確で統一された基準があるわけではありませんが、「姉妹都市」と「友好都市」の区分として、「教育・文化・スポーツ・芸術・経済といった多方面にわたる国際交流」を行う都市を「姉妹都市」、「都市間の特性を生かして実質的な市民レベルでの交流」を行う都市を「友好都市」と区分しています。

この情報誌では主に国内の友好都市について紹介していきますが、平塚市では姉妹都市として**アメリカ合衆国ローレンス市**とも提携しています。

今回は、友好都市3市をご紹介します。

### ① 岐阜県 高山市

高山市は、岐阜県の北部、飛騨地方の中央に位置し、市域は約81km、南北に約55kmあり、**面積は2,177.61平方kmと日本一広い市**です。

四季折々の美しい自然と深い歴史にはぐくまれた温もりのあるまちで、江戸時代**城下町の中心に町人の町として発達した古い町並み**が、往時の繁栄振りを今に伝えています。新鮮な野菜や果物、花などの小売店が並ぶ「朝市」、飛騨地方の代表的な古い民家を伝える「飛騨の里」では、忘れかけていた心の安らぎを感じられます。春と秋には、日本3大美祭のひとつとして名高い「高山祭」が行われます。絢爛豪華な屋台がおごそかに列をなして、高山の古い町並みの中を巡り曳かれていく情景は、まさに古典絵巻のようです。

**平塚と高山の出会いは古く、今から900年ほど前に平塚八幡宮の御分霊が、高山市山口町の櫻ヶ岡八幡神社に祀られた頃にさかのぼります。**昭和57年に平塚市で市制50周年事業として、友好都市の相手方を市民に募ったところ高山市が選ばれ、昭和57年10月22日に提携を結びました。

東京都に匹敵する面積だよ!



ちなみに…

平塚市の面積は67.88平方kmだよ!

## ② 岩手県 花巻市



花巻市は岩手県のほぼ中央に位置し、総面積は 908.39 平方 km。西に奥羽山脈、東には北上高地の山並みが連なる肥沃な北上平野に位置し、季節ごとに変化に富んだ自然風景が広がる美しいまちです。

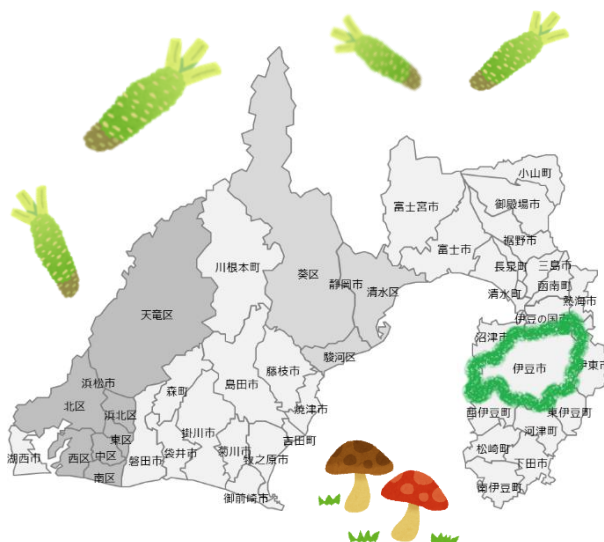
市の西部には、**奥羽山脈の渓谷沿いに湧き出る花巻温泉郷**があります。周辺は県立自然公園に指定され、立ちのぼる湯けむりと深山の緑、目の前を流れる清流が、情緒豊かな風景を醸し出します。

また、**宮沢賢治や萬鉄五郎などの世界的に知られる先人を輩出するとともに、早池峰神楽や鹿踊りなどの郷土芸能、日本三大杜氏のひとつ南部杜氏、さき織り、ホームスパン等の優れた技術**が多く伝えられています。

平塚市制 50 周年の記念事業として、昭和 57 年 4 月 27 日に「市民休養の郷」として締結しました。その後、約 2 年間のふれあい事業をし、花巻市制 30 周年を機に昭和 59 年 4 月 27 日に友好都市提携の盟約を結びました。平成 18 年 1 月 1 日に石鳥谷町、大迫町、東和町と合併し、同年 4 月 6 日には友好都市継続の調印をしました。

## ③ 静岡県 伊豆市

伊豆市は、修善寺町、土肥町、天城湯ヶ島町、中伊豆町の 4 町で構成されています。伊豆半島の中央部に位置し、4 町合わせて東西約 25km、南北約 20km、面積は 363.97 平方 km で静岡県総面積 7779.46 平方 km の 4.7% を占めています。**伊豆市では、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会自転車競技（トラック・レース/マウンテンバイク）開催に向けて、当大会の機運を高めること、そして当大会終了後も『自転車のまち・伊豆市』として未来に繋げ、伊豆市において自転車文化を根付かせることを目的としています。**平塚市との交流は、旧天城湯ヶ島町と「平塚市民の市民休養の郷」の協定を締結した昭和 57 年から続き、市民休養の郷 30 周年の節目を記念して、平成 25 年 2 月 6 日に友好都市の締結をしました。



## 伊豆市の特産品をご紹介します！！

伊豆市のわさびは、清澄な水と豊かな自然環境の中で育っています。地盤を深く掘り下げ、大きな石から小さな石の順に敷き詰めていき、表面に砂をのせる栽培方法で生産され、1 年を通して栽培・収穫されています。そして生ワサビの市場出荷量は日本一を誇ります。

また伊豆は温暖で、降雨量も多く、シイタケ栽培に適した気候といわれています。伊豆のシイタケは肉厚で味、香りともによく特に乾シイタケは全国の品評会でも毎回上位入賞を果たすなど、上質なシイタケとして全国的に評価されています。



**友好都市のパフレットについて：**7階のローレンス部屋（コミュニティラウンジ）にて友好都市 3 市のパフレットを随時配架しております。各市のイベント情報やクーポンも置いてありますので、ぜひ一度お立ち寄りください。

次回の発行は、9 月を予定しています。（文化・交流課交流親善担当 2180）